



平成二十六年九月 第二号

© 2014 雅友会

## 声明と雅楽の公演

in ヨーロッパ

南隅組 浄福寺 藤園智信

2014年5月27日、28日の両日、中央ヨーロッパのスロバキア・ブラチスラバと、ハンガリー・ブダペストの2都市へ、声明と雅楽の公演に行かせていただきました。

スロバキア日本国大使館と、スロバキア・日本友好協会の協力のもと、「V4十日本」交流年事業の一環としての今回の公演。V4とは、ポーランド、チェコ、スロバキア、ハンガリーの4カ国と日本で構成され、人の交流をはじめ文化、芸術などの友好と協力を進めることを目的としており、日本からこれまで以上に様々な団体が現地での公演を行うなど、各国間の交流が続けられてきてい



と行ってきました。行き帰りの飛行機代以外は、宿泊や現地での移動など全て日本大使館が全面バックアップというなんとも恐縮する中での初めてのヨーロッパ。公演は前半と後半の2部に分け、前半は日常私たちが勤める「声明」（お経）を、法要の形式に則ってお勤めし、後半では雅楽の演奏を行いました。



ます。そのよ  
うな中で今回、  
浄土真宗本願  
寺派の僧侶が  
招待をいただ  
き、かつて本  
願寺の勤式指  
導所で共に学  
んだ同期の仲  
間7名（鹿児  
島からは私と  
大八木宗司氏

日頃からクラシックに慣れ親しみ、音楽そのものに造詣が深いヨーロッパの皆さんが、純粹に日本の文化や音楽を体験しにやってくる…。  
『日本に行きたくても経済的に行けない人々が、雅楽に出会う一生に一度あるかないかの縁で来られる方が沢山いま



す。』という  
現地通訳の  
方のお話に  
一気に身が  
引き締まる  
思い。

大袈裟か  
もしれませ  
んが、ある意  
味での日本  
代表。今、自  
分たちにて

きることを一生懸命やりたい、そう心に  
思いながら公演に望みました。

どちらの公演も終了後に、聴きに来て  
くださったたくさんの方から声をかけ  
ていただきました。

『大変興奮シテイマス！今日は家に帰  
っても寝られないかもしれない！』

『精神的な世界へ連れ出してくれまし  
た、今日のごことは一生忘れられない』

中には、『神様が与えて下さった奇跡』  
など、クリスチャンの国らしい表現で有  
難い言葉をたくさんいただきました。ま  
た在日日本国大使館ホームページにもこ  
の日の模様が掲載されており、私にとっ  
ても非常に貴重かつ有意義な機会とな  
りました。

## 法統継承式

東隅組 輪光寺 山内義宣

さる6月5日と6日は京都のご本山  
において37年ぶりに法統継承式が行わ  
れました。24代即如御門主から25代專  
如御門主へ法義の伝統を継承したこと  
を表明する（お代替わりをする）法要儀  
式です。全国から5日は6千人6日晨朝  
2千人法要8千人もの僧侶、門信徒が集  
い新たな宗門の出發を祝いました。

私も御堂衆として父大宣とともに法  
要出勤するご縁を頂き、即如御門主の3  
7年にも及ぶご功績とお導きに深く感  
謝するとともに専如御門主の伝道教化  
のわずかでも一助になるよう心を新た  
に致しました。

6月5日午後3時半より御影堂にお



いて即如御  
門主から退  
任に際して  
のご消息が  
発布され、引  
き続き日没  
勤行が即如  
御門主様御  
調声、新門様  
御出座のも  
と正信偈行  
譜、十方微塵  
世界ノより

6首引き、阿弥陀堂御不座、重誓偈にて  
勤まりました。

御影堂勤行の後、即如御門主が須弥壇  
に登られ、御厨子のお扉を御親閉扉され  
ると御堂には誰からともなくお念仏の  
声があちらこちらから響き渡っており  
ました。

閉門後、御影堂内陣にて非公開でご譲  
渡式が執り行われ、御真影様をご安置す  
る御厨子の御鍵と本願寺門主の御印、御  
門主の御衣体を24代即如御門主から2  
5代專如御門主へ譲渡され正式にお代  
替わりなされました。

6月6日午前6時からの晨朝勤行に  
は25代專如御門主様御調声、即如前門様



御出座で、阿弥陀堂は讚仏偈、御影堂は正信偈行譜、弥陀成仏より6首引きにて勤まりました。喚鐘の鳴り響く中、紫色の衣体に身を包み25代専如御門主が阿弥陀堂にご入堂されるや、歓喜のお念仏が御堂を包み込みました。また御影堂ではお勤め前に御門主様により御厨子御親開扉が執り行われました。晨朝勤行に引き続き御影堂に於いて専如御門主様による就任後初めての帰敬式も執り行われました。

10時からはいよいよ法統継承式が執り行われ、一部は法要、御門主様御導師、前門様御出座のもと阿弥陀堂で無量寿経作法第二種、御影堂で廣文類作法第二種の法要が勤まりました。式務部現職の時以降折に触れ上山しお勤めさせて頂いておりまして、満堂の御堂はもちろんです。白洲のあふれんばかりの方々との地響きがするぐらい大音量での正信偈の唱和

を体感したのは今回が初めてでありました。結果の中でお勤めさせて頂いた私の背中から割れんばかりの唱和を聴き、多くの方々の御門主様に対する歓喜と期待の大きさをまじまじと感じる事でした。

引き続き二部では御影堂で式典があり、専如御門主から初めてのご消息が発表されました。我々式務部現職とOBは法要後御影堂北三ノ間にてご消息を拝聴しましたが、そこには内事部長とお裏方様のご姉妹とみられる女性に付き添われて3歳になられた敬(たかし)様がおられました。ご消息を拝聴しながら敬様の成長されたお姿を拝見し宗祖親鸞聖人以降連綿と受け継がれてきた浄土真宗のみ教えを次の世代へ伝えていくべき襟を正すとともに、次期法統継承に出勤できているのかな、宗門はどのように発展しているのかなと思いを廻らす事でした。

法統継承式が終わっても御門主様、前門様はごゆっくりなさる暇もございません。1時半にはお二方お揃いで大谷本廟へ御廟参拝に向かわれ、聖人を始めご歴代方々へ法統継承の報告をなされ、3時から外部に向けての記者会見、その後市内のホテルにてレセプションにご

出席と多忙な一日を過ごされました。

## 恒例 夏季研修会

### 開催しました！

毎年夏に会員のお寺を持ち回りして一泊での夏季研修会を行っているのですが、今年は川内組願船寺様をお借りして開催いたしました。

当日は17名が参加し、課題曲の舌越調「蘭陵王」、平調「陪臚」、双調「酒胡子」と「酒胡子幻想曲」に取り組みました。まずはそれぞれの管ごとに分かれ、その後は全員での練習です。



10月には別院永代経が、12月には別院報恩講がお勤まりになりますので、それに向けて個々のレベルアップはもちろん、皆でしっかり音を合わせるとともに、みっちり

練習しました。  
 終わってからは皆で懇親会を。日頃ゆ  
 つくり話せないことや先輩方からのア  
 ドバイスや提案など、とても有意義な時  
 間を過ごさせていただきました。

# ボーズミーティング

## 今年も出演

来る10月18日(土)に鹿児島別院で  
 開催されるボーズミーティングフェスに今年  
 も出演させていただくことになりました。  
 た。

昨年は聲明のコーナーでお勤めをし、  
 その他模擬仏前結婚式では雅楽演奏を  
 させていただきました。今年は本堂内下  
 陣で舞楽をご披露いたします。



舞楽、ご覧になられたことはあります  
 でしょうか。舞楽とは「舞」を伴う雅楽  
 です。  
 舞楽の場合、通常よりもテンポよくリ  
 ズミカルに演奏され、また音色だけにな  
 く、舞の美しい型も楽しんでいただけ  
 るかと思えます。

今回は、『陵王』という演目をさせて

頂きます。

この日のために、一生懸命練習をして  
 おります。ぜひ、お越しくださいます。

### ☆雅友会へのお問い合わせ

鹿児島教区教務所内 雅友会事務局

099-22210051 (担当 井川)

雅友会ホームページ(鹿児島別院ホームページ内)

<http://www.hongwanji-kagoshima.or.jp/gayukai>

BU GA KU

# 舞 楽

アイエンガリョウ  
 哀婉雅亮スグレタリ  
 ショウジョウガク  
 清浄樂ヲ歸命セヨ  
 キミョウ  
 親鸞聖人

鹿児島教区  
 雅友会

2014年10月18日(土)  
 15時45分より

Bouz meets Fes  
 西本願寺鹿児島別院